

真宗大谷派山陽教区教化委員会
広報・情報発信部門広報誌
もんじっぽう

聞十方

教区全体に声が届きますように

第4号

発行日 2019年6月1日
発行者 山陽教区教化委員長
中根 慶滋
発行所 〒670-0044
姫路市地内町1番地
Tel 079-292-3690
Fax 079-292-1747
E-mail
sanyo@higashihonganji.or.jp

「創造と回復」 「温もりのあるお寺をともに！」

「各種団体紹介」

山陽教区内には、教区教化委員会の他に、教区が助成している各種団体があります。

坊守会、山陽教区真宗同朋の会推進員連絡協議会（山推協）、仏教青年会、児童教化連盟、大谷保育協会、教化研究会、教誨師会、保護司会、准堂衆会、山陽教区同朋の集い、コールサンガです。第四号においては、この、各種団体の目的、活動内容、実績等について紹介していきます。

また、前回掲載できていなかった「解放運動推進協議会」、「男女共同参画推進委員会」の紹介も、この号にて掲載させていただきます。この二つの会は教区教化委員会と連携しつつ独自の活動をしています。

「山陽教区坊守会」 会長 後藤 由美子

山陽教区坊守会は、山陽教区内寺院の坊守や寺院女性を会員として、真宗寺院の本来性を知り、同朋生活の具現のために、親鸞聖人のみ教えに出遇う研修を重ねる任意の教化団体です。

各組の坊守会長等から、三年の任期で教区坊守会長一名、副会長、会計、書記、監査それぞれ二名、通信委員一名の計十名を選出した常任委員会が運営を担い、当番の組が順番に開催の協力をします。

総会で決めた年間予定は報恩講、修正会などの行事、声明作法・仏華・仏教学・真宗学・宗門法規など七回の基礎講座、年に五回の坊守問題を考える会、年一回の一泊研修などがあり、さまざまな学びと会員相互の研鑽・親睦の機会となっています。

また長浜・京都・大阪・四国・山陽の五教区からなる近畿連区坊守会では事業として一泊研修があり、今年度は五年に一度の当番教区として約二百名を姫路に迎えました。また坊守会連盟では今年結成六十周年を迎え、四月には真宗本廟にて、六十周年記念坊守研修会が開催され、教区から七名が参加します。

このように各寺と、組、教区、連区、全国と、大きくつながる坊守会ですが、なによりお念仏のみ教えと深くつながって活動できればと願います。



前列左から
八木 良子（会計）
木村 恵子（副会長）
後藤 由美子（会長）
廣住 美津子（副会長）
岸本 幸代（会計）

後列左から
藤本 志貴子（通信員）
波来谷 真理子（書記）
久保 久美子（書記）
蒲生 玲子（会計監査）
南枝 尚美（会計監査）



2019年1月坊守会報恩講のようす

「山陽教区真宗同朋の会推進員連絡協議会」 会長 松本一之

山陽教区真宗同朋の会推進員連絡協議会（山推協）は、教区内十五の各組に組推協を結成し、各組の会長を中心に活動しています。（会員約一八〇〇名）

年二回、各組の会長が集い、総会を開催し、組の活動を連絡協議しています。現在の会長は松本一之（四組・勝瑞寺門徒）、副会長は田口大一（備後組・最善寺門徒）です。

主な行事は、年一回教区内を巡回しての一泊研修会（昨年度は第四十五回近畿連区と第三十八回山推協一泊研修を兼ねての行事となり、美作組、備後組、備中組の担当で鷺羽ハイランドホテルにて実施、宿泊者は一六三名。今年度は神戸組、第五組、第六組の担当で舞子ビラにて実施予定、各組五名の参加募集）。



2018年5月31日第45回 近畿連区同朋の会推進研修会 鷺羽ハイランドホテル



松本 一之（会長）
田口 大一（副会長）

機関紙『山推協』を年一回発行し、全会員に配布しています。

近畿連区推進員連絡協議会（長浜、京都、大阪、山陽、四国の五教区）年一回一泊研修会。今年度は大阪で実施予定、山陽教区は二十名参加割当。

全国推進員連絡協議会（全推協）年一回二泊三日研修会。

今年度は四国にて実施予定、山陽教区は五名参加割当。機関紙『羅網』年三回発行、全会員に配布。

「山陽教区仏教青年会」 委員長 藤谷 真



左から
木村 慎（副委員長）
天川 岳洋（副委員長）
北風 智史（事務局）
藤谷 真（委員長）

上岸 佑介（広報）
藤原 成道（会計）
松岡 彰（災害基金会計）
中杉 寛法（会計監査）
山科 立人（編集）

山陽教区仏教青年会（仏青）は、若手族や有縁の方々が真宗の教えをおとして集い、それぞれの課題や思い、悩み等々を互いに聞き、語り合いながら共に学んでいく場として様々な活動をしています。昭和二十九年の十二月に本山へ奉仕上山したことを機縁に会が結成され、今日までそれぞれの時代に応じた表現で歩んできました。

現在の会員は二十五名で、主な活動として、例会

（二カ月に一回程度）現在では輪読会・座談、公開講座、他教区との交流研修会を行い、仏青報恩講・阪

神淡路大震災追弔会・東日本大震災追弔会を勤めています。

これまでの歩みをたしかめつつ、仏青という若さと柔軟性を活かしながら、丁寧これからも互いに聞き合い学び合う場を開き続けたいと考えています。

一人でも多くの方と一緒に話し、聞き、考えていく、そのような時間・場を共に作っていただければと思いますので、興味のある方、ない方も是非一度例会にいらして下さい。心からお待ちしています。



2019年1月16日阪神淡路大震災追弔会の様子 神戸組玉龍寺

「教区児童教化連盟」

委員長

小谷 真樹



2019年2月22日 講題「自分を好きになれない子どもたち」講師 佐賀枝 夏文 師

児童教化連盟では公開講座「真宗の子育て」と「一人から始める日曜学校」、青少年部との共催「こども花まつり」を中心として活動しています。

まず「真宗の子育て」では、子どもに関する様々な問題をご講師の話をきっかけに、私たち大人の課題として捉え直そうとの願いのもとに開催しています。

そして、子どもの問題を子どもと大人が共有し、共に学んでいく場を作っていくことが児童会員の課題となっています。

そこで子どもとの出会いの場作りの一環として、教区の皆さんへ「一人から始める日曜学校」の推進と「こども花まつり」への参加の呼びかけをしています。

児童への教化活動が、宗祖の教えや寺院の在り方を見つめ直すことと、どのような関係にあるのかを明らかにしていくことが児童教化連盟の役割だと思っています。



左から 木村 慎 (副委員長)
小谷 真樹 (委員長)
上岸 祐介 (会計)
山科 立人 (副委員長)



2018年こども花まつりのようす

「大谷保育協会山陽支部」

支部長 三須 誠



2019年3月9日「保育心理士講座」のようす

「ともに育ちあう」を目指して

大谷保育協会山陽支部

山陽教区では大谷派の寺院を中心として運営される保育園・幼稚園・認定こども園が加盟する公益社団法人大谷保育協会の山陽支部が真宗保育理念の下に活動しています。大谷保育協会は、「本願に生き、ともに育ちあう保育」を真宗保育理念として「子ども達の最善の利益」を追求しながら真宗保育の実践と研鑽に取り組んでいる団体です。

山陽支部においては、現在十三園の加盟園が所属しています。山陽支部の主な活動としては、役員会・総会を経て、加盟園交流や保育心理士養成講座等の職員研修会の開催、兵庫県の本願寺派加盟園との東西真宗保育研修会実施等を行い、日々真宗保育の実践に向け、子どもや保護者・地域と向き合いながら、その資質向上に取り組んでいます。

保育心理士養成講座は大谷保育協会の主催する資格認定研修で、保育・教育の現場で子ども達ひとり一人に寄り添える専門家を育てることを願った研修会で、現在、山陽支部内では行政の認定するキャリアアップ研修も兼ねて、保育心理士の養成に取り組んでいます。

保育・教育を通じて真宗を実践していく大切な機縁として受け止め、今後も活動して参ります。



左から 藤原 成道 (主務)
都築 祐二 (理事)
杉寛法 (副支部長)
谷千賀子 (副支部長)
三須 誠 (支部長)

「山陽教区教化研究会」 会長 藤間 祐淳



左から
近藤 昌丸 (会計)
池田 賢祐 (会長)
藤田 祐司 (副会長)
間村 雅範 (常任委員長)
木野 正倫 (常任委員長)
日本 谷良昭 (常任委員長)
井波 成道 (常任委員長)
藤原 仁晃 (常任委員長)
飯井 典久 (常任委員長)
藤武 久 (常任委員長)

名前が使われていましたが、発展的解消を期して、法話の講師を推薦派遣、また船場別院での楽市の時の法話は若手のメンバーが受けています。



2018年沖縄別院訪問

活動は年二回の研修会、教区内と教区外と交互に一泊研修会を開いています。昨年は沖縄の宗教事情の現地学習を行いました。が、本土と大いに異なる宗教環境に認識を新たにしました。

研修は教化の現場で出くわす色々な現実的問題を親鸞聖人の教えに確かめることを願いとして、池田勇諦先生に、もう三十年近くおいでいただいています。

今年の現地研修は九月に「北海道と東本願寺」というテーマで、明治の初めに現如上人を中心として開拓された中山峠、本願寺道路と言われる国道などの視察が計画されています。大勢のご参加をお待ちしています。



2019年2月8日 池田勇諦師公開講座 講題「仏法の正しい聞き方」

教化研究会の歴史は古く、現在会員は六十名います。昭和三十六年、同朋会運動が始まると、同朋の会を始めようにも講師がいけない、という声がでて、四十年ごろ「教区布教団」が結成され、講師の幹旋や派遣を行うこととなりました。昭和六十年、教化研究会という



2019年1月7日「教区教誨師篤志面接委員会施設参観」参加者 岡山刑務所前



藤間 祐淳 (会長)
藤本 潤 (副会長)
本多 正尚 (幹事兼会計)

教区教誨師篤志面接委員会には現在十一名の教誨師と二名の篤志面接委員がいます。教誨師はご存知の通り刑務所や拘留所などの矯正施設に通って受刑者の人たちに向かい合い、親鸞聖人の教えについて話し合います。篤志面接委員は同じく矯正施設に通い、絵画とか書道、歌や詩吟など趣味性の強いものの指導をしま

す。年間の会としての活動は、最近では教区保護司会と合同で、公開の研修会、そして教区内に十七ある、刑務所、少年院、拘留所などの矯正施設の参観を一般の住職寺族、ご門徒の皆さんと一緒にしています。研修、施設参観を公開で教区内の皆さんに呼び掛けて行っている願いは、親鸞聖人の門徒たるものは、これら矯正施設に収容されている受刑者がいることに関心を持っていたら、考えていただきたい、そしていつでも教誨師や篤志面接委員として矯正施設に通うことが出来るようになっていただきたいという事です。ただ特殊な場所ですから自由に出入りはできず、許可を得たものだけが通える、という事があります。ある先輩の教誨師は「みんな刑務所の塀の上をあるいているのです、あなた方はたまたま足を踏みはずして中に落ちていくだけで、私もいつ落ちるかかわからないのです。」と話されていたそうです。まさに人間は時代的社会的動物だと感じずにおれません。なお、全国には約一六〇〇人の教誨師が、仏教系、神道系、キリスト教系から出ています。また大谷派には約一九〇名の教誨師がいます。

「山陽教区教誨師 篤志面接委員会」 会長 藤間 祐淳

「山陽教区保護司会」 会長 稲田 昭



..稲田 昭..(会長)..

湯朝 岳明 (副会長)
五百井 正浩 (副会長)
藤原 千秋 (幹事)
日野 雅範
(事務局 本山委員)

二〇一五年 全国保護司会結成にあたり、山陽教区内の寺院所属保護司で結成されました。現在会員十九名。

保護司とは地域推薦で法務大臣から委嘱を受けた非常勤の一般職国家公務員です。しかし職務遂行に必要な費用以外は支給されず、ボランティアとして活動しております。

職務は保護観察処分、または執行猶予もしくは仮出所された方の更生の手助けをします。真宗の保護司という範疇での任命ではありませんが、宗祖の教えをいただきながら「共に」悩み苦しみ、「平座で」向き合うべく研鑽を積んでおります。教区教誨師会と合同事業をしております。

回りの一年、研修会、施設参観、全国研修会等に積極的に参加しております。



2018年7月10日 教区教誨師会・保護司会合同公開講演会
講師は佐賀枝 夏文 師(大谷大学名誉教授)
講題「近代大谷派の社会的実践の歩み」



第2回真宗大谷派保護司会全国研修会

「山陽教区准堂衆会」 会長 木村 浄

私たち山陽教区准堂衆会は、大谷派声明儀式作法の研究修練を通して同朋社会の実現をすることを目的として一九九四年に発足しました。以来、年数回の研修会・講習会を開催し、日々研鑽に勤めています。

会員は現在正会員が二十五名、准会員が四名の合計二十九名です。

年間活動として主に本山御正忌、春の法要への外陣加勢、姫路・広島別院への報恩講、彼岸会、永代経への出仕加勢をしています。また、児童得度前研修への講師派遣や長島愛生園の追弔会に出仕も行っています。

二月十六日の阪神淡路大震災二十五回忌法要にも出仕加勢させていただきました。

今後は来たる立教開宗八〇〇年、宗祖誕生八五〇年に向けて益々の研鑽に努めていきたいと思っています。

また、各寺院における法要についてもお手伝いさせていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



2019年1月24日 講題「声明の歴史について」 講師 藤原 忍 師



前列左から 山科 尚 (最高顧問)
木村 浄 (会長)
後列左から 廣瀬 立慶 (顧問)
本谷 廣 乗 (副会長)
寺川 大 俊 (会計)
大塚 俊慶 (事務局)
高橋 仁誓 (副会長)

「山陽教区同朋の集い」世話人松本一之

山陽教区同朋の集い



「山陽教区同朋の集い定例学習会」のようす

毎月第二土曜日午後一時半から（八月は休み、五月は親鸞聖人讃仰講演会に参加）船場御坊の境内地にある山陽教区同朋会館で学習会を行っています。最近の記録では二〇一〇年九月から二〇一五年八月までは「正信偈」、九月から二〇一八年三月まで「四十八願」、

2018年度の講師は下記の通り

※教区内の若手僧侶が交代で

お話しをしております。

木村 慎	（四組・興宗寺）
海津 隆明	（五組・浄徳寺）
後藤 功	（赤穂組・西教寺）
小谷 真樹	（三組・法専坊）
藤間 哲祐	（備後組・明正寺）
西堀 秀行	（神戸組・教泉寺）
上岸 祐介	（四組・光専寺）
松浦 至	（一組・了源寺）

四月から「御文五帖目」を学習しています。

講師は教区内の若手僧侶です。現在登録のメンバーは四十六名で第一組、第七組、赤穂、神戸組からと遠くからも参加されています。この会のメンバーは十二月には研修室と会議室のお内仏のお磨きをしたり、讃仰講演会の当日、資料の袋詰めや受付を担当しています。また、姫路船場別院本徳寺の定例法話会（毎月十二日の先門首御命日逮夜、毎月二十七日宗祖御命日逮夜いずれも午後一時から）に参加している方もおられます。

会費が毎回五〇〇円となっておりますが、もともと多くの方に参加していただきたいと思います。

「コールサンガ」

代表 溪口 直子



左から
清水 嘉子（伴奏）
東岡 みゆき

溪口 直子（歌唱指導）
日野 恵理子
北風 加奈子



毎月第2水曜日の練習風景

題全国交流大会など歌わせて頂きたいです。今年二月十六日には阪神淡路大震災二十五回忌法要にも参加しました。そのほか、四組同朋大会、宗祖親鸞聖人讃仰講演会、本徳寺報恩講等々参加の機会をいただいております。

毎月第二水曜日十三時三十分より、山陽教区同朋会館講堂にて楽しく練習しています。

これからは仏教讃歌をご縁に御同朋と共に歌う喜びを感じられる会にしていきたいです。いつでも気軽に来て下さい。



2019年2月撮影

仏教讃歌をご縁にして、老若男女・寺院門徒の方どなたでも歌の好きな方が集まり、仏教讃歌だけでなく季節の歌など色々な歌をうたっています。歌うことは健康にもよく、仏様の言葉にもふれ、声を合わす楽しさも感じられます。現在会員は四十七名です。

当初は、四組同朋大会にて坊守有志で仏教讃歌を歌っていましたが、二〇〇七年宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌お待ち受け法要に参加することを目的に門徒の方々も一緒に結成し、はや十二年となります。

その間に山陽教区御遠忌音楽法要も勤められたことは、大きな喜びでした。少年刑務所盆会、赤穂別院の行事、ハンセン病問

「教区解放運動推進協議会」 会長 松岡 彰



左から
松岡 彰 (会長)
松岡 彰 (常任委員)
北岡 子 (常任委員)
東 子 (常任委員)
長 子 (常任委員)
内 子 (常任委員)

教区解放運動推進協議会は、山陽教区十五組からそれぞれ解放担当として選出された人員で構成されています。

教区教化委員会に属さず部落差別をはじめとするあらゆる差別問題を課題とする機関ですが、教区教化委員会に社会問題部門が立ち上がったこともあり、当会は部落差別に特化して課題共有できればと取り組んでいます。

二〇一七年には、大谷派における解放運動の先駆者である武内了温師(第二組)の五十回忌法要を厳修し

ました。また、部落解放同盟広島県連より提起のあった『仏説観無量寿経』の「是梅陀羅」問題については、継続した課題として組単位でも「是梅陀羅」に関する学習会がもたれています。

公開講座・現地学習会を行い、部落差別の

課題に取り

組むことは

真宗を学ぶ

こと(信仰)

である、

一人ひとり

が関わって

いた、

よう、

取り組んで

いき、

思います。



2019年3月7日「美作騒擾に関する学習会」
講師 上杉 聡 師(関西大学 講師)



2018年6月6日皮革工場見学 たつの市

「男女共同参画推進委員会」 委員長 勝間 靖



勝間 靖 (委員長)
邨上 淳子 (副委員長)

日野 直裕
松本 英司
日野 恵理子
藤本 志貴子
玉光 勝子
大西 郁子
佐々木 尚文
河野 教明

男女共同参画委員会は、山陽教区では二〇〇四年度に準備委員会が発足し、正式には二〇〇八年度よりはじまりました。

以来、任期三年で女性五名、男性五名の合計一〇名で、性別、道俗を問わず課題を共有し、ともに同朋社会を実現していくことを目的に、部員それぞれを尊重し共生を意識しながら活動しています。

活動内容として委員自らが男女共同参画とは？ということを発表していく委員学習会や、その学習を積み重ねてからの本山女性室などから講師にご出講いただいたの公開講座を開催しています。

2017年度の研修会のように



教区内の方が寺院を捜したり、研修会の会場を訪ねたりする際、わかりやすくすることを目的として、寺院紹介の項目を設けました。

プライバシーの問題に関しては、掲載許諾寺院のみの掲載とさせて頂いたいただき、貫単位コピーされることを避けるために、名簿ページのみのみ、マウスの右クリック操作を無効にするように設定を変更しました。

↑
まず、ホームページのトップにあるメニューバーの「05寺院紹介」をクリックしてください。すると、「真宗大谷派山陽教区寺院紹介」のページが表示されます。

別院		
別院	住所	TEL・FAX 地図・HP
姫路船場別院 本徳寺	〒678-0044 兵庫県姫路市 地内町1番地	079-292-0580 079-292-0580  
赤穂別院 妙慶寺	〒678-0239 兵庫県赤穂市 加屋51番地 の2	079-292-3690 
広島別院 明徳院	〒738-0044 広島県広島市 中区宝町4番 16号	082-241-5342  

→ そのページの緑が背景のオレンジの文字で「別院」「〇組」などと書かれた箇所をクリックすると、それぞれの、組や、別院の箇所ジャンプします。

真宗大谷派山陽教区寺院紹介

(掲載許諾寺院のみ)

※該当地区の組名をクリックしてください、各組のページへ移動します。

別院紹介

<組別紹介>

▼兵庫県▼

神戸組

兵庫県神戸市

第一組

兵庫県姫路市勝原区・大津区・余部区 / 損保都太子町 / たつの市御津町・損保町

第二組

兵庫県たつの市龍野町・横西町・神岡町・横保川町・新宮町 / 姫路市林田町 / 宍粟市山崎



↑ 先頭の行に戻りたい時は、画面右側の「PAGE TOP」か、↑「上」をクリックしてください。

そこで、その組や別院の「寺院名」、「郵便番号」、「住所」、

「電話番号」、「FAX番号」、「地図」、「ホームページ」などが記されています。地図はグーグルマップを利用しております。スマホのGPS機能をONにしておかれると、現在地から目的地までの移動経路、移動時間等が表示され、目的地までナビゲーションしてくれますので、とても便利です。



は少ないですが、お申し出があれば、いつでも掲載させていただきます。
HPのみならず、現在未掲載の寺院もお申し出があれば、いつでも掲載しますので、お申し出をお待ちしております。

編集後記

プロ野球シーズンが終わりましたが、シーズン前にセ・リーグを三連覇した広島カープが観戦チケットを転売して利益を得る人たちに講じた対策が大きなニュースになりました。

初の試みで配布された抽選券には五万人を超える人が殺到。私もその中にいましたが、球場の入り口からコンコースを一周するだけで三時間。それでも当選はかないませんでした。

熱烈応援と言え、誰もが思い浮かべる球団があります。聞いたところでは、関西では、シーズンがはじまって阪神が勝つとマジックを掲げる商店街があるとか。

昭和、平成、そして、令和と野球熱は続くのでしょうか。「寝ても覚めても阪神」「三度のメシよりカープ」。

お寺の聴聞に五万人の列ができたという話を聞いたことはありません。エンターテイメントと聞法とを同列にはできないでしょうが、教えを求める熱も盛り上がって欲しいという思いが列に並んでいた時に私の中に浮かんでいました。